

学力向上に係る効果的事例

学級活動での「話し合い活動」の充実を通して、学び合いの充実を図る取組

【東部教育事務所】

1 学校、学年、教科
中学校、1学年、特別活動「話し合い活動」

2 ねらい 学級活動での「話し合い活動」の充実を通して、生徒の自主的、実践的な態度を育てるとともに、各教科での学び合い活動の充実に関わり付け、学力の向上を図る。



3 「話し合い活動」指導の流れ

◆事前指導

2週間前まで	議題の募集	計画委員 →全員	随時	朝の会で、学級全体に呼び掛ける。
2週間前	議題の決定	計画委員会 (班長会)	放課後	議題ボックスに出されたものの中から検討する。
10日前	議題の発表	計画委員 →全員	朝の会	決定した議題を発表し、自分の考えをもたせる。
1週間前	学級会ノート の記入	全員	学活	学級会ノートに自分の考えを書かせる。
5日前	活動計画の 作成	計画委員会 (班長会)	放課後	学級会ノートに目を通す。 話し合いの流れを計画する。
3日前	リハーサル	計画委員会 (班長会)	放課後	司会、提案者、記録者を決め、 リハーサル、準備を行う。

◆当日の話し合い

話し合い活動が充実するために

話し合いの過程	指導上の留意点
1 問題の焦点化	<ul style="list-style-type: none"> 問題の所在をはっきりさせる。 話し合いがぶれた時には、話し合いのねらいに戻る。
2 共同の認識	<ul style="list-style-type: none"> 議題に対しての考えを事前に掲示しておく。 議題に関するアンケートを実施して、その結果を発表してから話し合いを始める。 みんなの問題として考えさせる。
3 問題解決の方法	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのルール、発表の仕方を掲示しておく。 解決方法、経路をはっきりさせる。
4 提案と対立点の明確化	<ul style="list-style-type: none"> 友人の意見を自分の意見と比べながら聞く訓練を常に行う。よくできている発言を褒める。 反対意見の出し方を教え、違う意見を大切にする気持ちを育てる。
5 提案の集約	<ul style="list-style-type: none"> コンセンサスゲーム等を計画的に行い、相手を納得させることの大切さを教える。 話し合いのねらいを確認しながら、よりよい結論をまとめさせる。

◆事後指導

- ・話し合いで決まったことを実施する。
- ・取組に対しての自己評価、振り返りをさせる。
※教師は、子どもたちの活動を評価する。
自分たちで決めたものが実行できるよう指導する。
できなかった場合は、なにがいけなかったのか、話し合いをさせる。

4 取組内容例

学級、学校生活上の諸問題の解決を図る話し合い活動

○議題 「1組の課題をみんなで考え、みんなで解決していこう」 1年1組

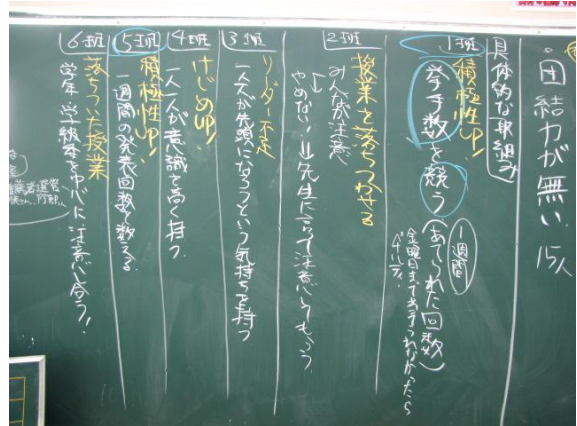
○議題設定の理由

1年1組は、合唱祭という大きな行事を終え、中だるみが見え始めてきた。授業中の私語が増えてきたり、休み時間と授業の切り替えが遅くなってきたりと学級としての課題が色々出てきた。そこで、学級活動の時間を使って課題を解決するための取り組みを行った。

◆話し合い① まず1組の今の課題について話し合うと次のような課題があがった。

<1組の課題>

- ・クラスを中心になる人がいない。12人
- ・授業中うるさい。25人
- ・号令の時の声が小さい。1人
- ・ケジメがない。18人
- ・集中力が足りない。10人
- ・チャイム着席ができていない。8人
- ・教室が汚い。17人
- ・積極性がない。7人
- ・一つ一つ全力でやっていない。5人
- ・団結力が無い。15人



【班で考えた課題と解決策】

◆話し合い② もっとも解決しなければならない課題を班で1つ決めて、それに対する具体的な解決方法を考え、話し合った。

話し合いの結果、積極性が足りないことが大きな課題であるということで一致したので、積極性を上げるために発表の回数を競う「発表コンテスト」を行うことを決定した。

発表コンテスト

1組の**積極性**を上げるために、手をあげた回数を**班対抗**で競う。

【ルール】

- 手をあげた回数 (+1点)
- 当てられた回数 (+3点)
- 班全員が1日に3回以上手をあげた。
+20点
- 班員は自分の点を覚えておく。
- 授業後に班長が班員の点を集計。

【発表コンテストルール】

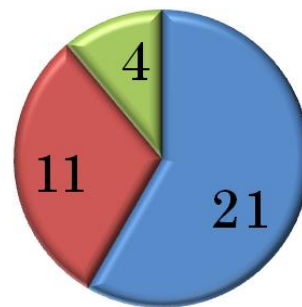
◆話し合い後の取組

発表コンテストを始めてからは、積極的に手が上がるようになり、授業が活性化した様子が見て取れた。

発表コンテストを1週間続けた後、自己評価を行った。

結果は以下の通りである。

A 積極的に取り組むことができた。	21人
B 取り組むことができた。(取り組むことが多かった)	11人
C あまり取り組めなかった。(取り組むことが少なかった)	4人
D 取り組めなかった。	0人



感想からは、「みんな手をあげるようになって、授業が楽しくなった」、「手をあげることで自信をとりもどせた」など、取り組みをやってよかったという意見がほとんどであった。また、今後も発表コンテストを続けてほしいという意見も多かった。

今回、1組についての課題を考えさせ、その解決策を考えて取り組みを行わせた。自分たちで課題を見つけて、それを解決することができたことはクラスにとって自信をつけることにつながったのではないかと感じた。

今後は、発表コンテストだけでなく、他の課題についても取り組みをおこなっていきたい。

1組の課題

- 一、もっと積極性を!
- 一、授業と休み時間のけじめを!
- 一、集中力をつけよう!
- 一、美しい教室を!汚さない努力を!
- 一、何事にも全力で取り組もう!
- 一、もっと団結していこう!

【1組の課題を教室に掲示】

5 成果と課題

学級活動の目標は、「学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。」である。

学級活動の取扱いには、「イ 自分たちできまりをつくって守る活動を充実する(中学校学習指導要領解説 特別活動 P53)」と記されている。

今回の話し合い活動を通して子どもたちは、自分たちの課題を見つけ、きまりをつくり実践を進めることができた。だからこそ子どもたちは、積極的に取り組むことができたし、満足感を得ることができた。

また、今回の話し合いを通して、自分の考えをもち発表できるようになり、お互いの意見を尊重しあいながら話し合い活動を進めることができるようになった。これからも学級活動での話し合い活動指導を進めることで、各教科での話し合い活動、学び合い活動を深めていきたい。